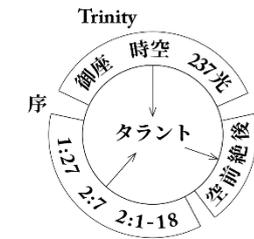


21.11.14 聖日-RT

インマヌエル

イザ 7:14 700年 マタ 1:23



- 序
1. 眞の福音
 2. 眞の祈り
 3. 眞の伝道

本-5つ

1. 捕虜-失敗 絶望 (宣教)
2. 解答
3. 正確な みことば (40:1-31)
4. 使命 (イザ 60:1-22)
5. 身分 権威

- 1) 処女
- 2) インマヌエル

- 1) 永遠に 立つ
- 2) 比較
- 3) ただ

- 1) 光
- 2) 遠方 (宣教)
- 3) 20-22

- 結
- すべてのこと
- 1) 見張り人 回復
 - 2) 大路
 - 3) 国々の民 (旗)

イザ 7:14

それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。

要約

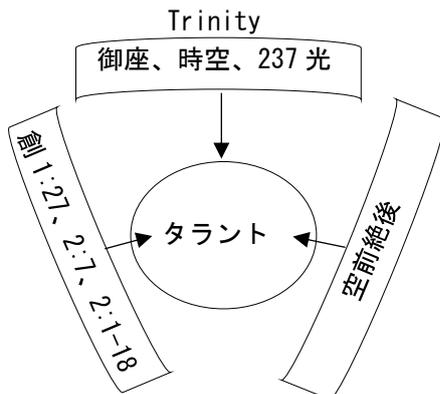
イザ 7:14

700年

マタ 1:23

△答えの最高の単語はインマヌエルだ。イザ 7:14 だ。ところで、重要なのは、この預言のみことばが出てきて 700 年の間、答えがなかった。多くの人々は信じなかったけれど、マタ 1:23 に成就した。700 年間、答えがないから、答えがあると言えなかったが、重要なのは、その間にこの契約をずっと味わったのだ。

□序論



△それゆえ、Remnant は少しか祈ればタラントが新しく出てくる。どこから出てくるのか。御座、時空、237 光、ここから出てくるべきだ。時代を変えたほとんどの人々は、幼いときに見つけたタラントではない。ある面では、今見つけたタラントは、特別重要ではないこともある。本当に神様に会った人々は、ここから(御座、時空、237 光)新しく発

見して出てきた。三位一体の神様だ。

△これで終わったのではなく、創 1:27 神様が人間にだけ神様のかたちとしてのいのちの息を植えられた。創 2:7 いのちの息を吹き込まれた。たましいを生かした。信徒が教会に通っても答えを受けない理由が、この部分を生かせなかったこと。この部分(御座、時空、237 光と創 1:27、創 2:7)がつながらなければならない。これが祈りだ。ここでこの祝福味わうことを持って創 2:1-18、完全にエデンの園より良いことを回復するようになる。ここから出てくるタラントだ。

△すると、神様が準備しておかれた空前絶後のことがある。これが本当のタラント。このように(御座、時空、237 光+創 1:27、創 2:7、創 2:1-18 +空前絶後)ぴったり連結されるのだ。ひとことで、三位一体の神様から出てくる 3 超越。完全に時代を変えた人々は神様を信じるこのタラントを見つけた

△イザヤがこれを見た。これを見れば、いつつかのことを発見するようになる。

1. 真の福音が何か発見するようになる

- 1) 三位一体の神様が私の永遠の背景
- 2) 死んだ私の霊が生き返る
- 3) 誰も奪っていくことはできない空前絶後の答えが!(ヨセフ、ダビデ)

2. 真の祈り

3. 真の伝道

□本論_インマヌエルの奥義 5 つを握るべき

1. 捕虜—失敗、絶望

△今、イスラエル民族が捕虜になって行くことを預言。私たちに失敗と絶望がある。これをのがしてはならない。みなさんに困難がきた。それをのがしてはいけない。ほとんどの人は避ける。逃げる。いやがる。ここに答えがある。失望、絶望の中に行くように見えるが、事実は宣教しに行くのだ。

- 1) 根—源は契約で、キリストが根
- 2) 切り株—この切り株は先立って福音を伝えた先輩たち、大人たち
- 3) 新しい芽 (RT) —それで新しい芽が出て木になる。この木は森を成し遂げる

2. 解答

すべての問題に対する解答がインマヌエルだ(イザ 7:14)。いくら大きな問題がきても解答はインマヌエル。

- 1) 処女がみごもって男の子を産む—メシヤ、キリストになる人は人間の子孫ではない。
- 2) インマヌエル—神様が私たちとともにおられる。
- 3) 暗やみの権威は完全に崩れる

3. 正確なみことば(イザ 40:1-31)

世の中を生かす正確なみことばを与えられた。

- 1) 草は枯れ、花はしぼむ。だが、私たちの神のことは永遠に立つ。
- 2) 神様を悪霊と比較できるのか。人が作ったことと比較になるのか。
- 3) ただ主を待ち望む者は新しく力を得る

4. 使命(イザ 60:1-22)

- 1) 起きよ。光を放て—あなたがたが光だ。
- 2) 遠方から Remnant が宝物をいっぱいおせて戻ってくる(宣教)
- 3) 20 - 22 節、最も小さい者も氏族となり、最も弱い者も強国となる。

△すべての問題は宣教のはじまりで、すべての解答はインマヌエルであるキリストだ。すべてのインマヌエルの正確な力がみことばだ。

5. 真のインマヌエルの身分と権威

- 1) 見張り人として立てた。
- 2) 大路を造りなさい。
- 3) 国々の民のために旗を揚げなさい。

□結論_この事実を分からなければまた、属国、流浪民族にならなければならない。また、3 団体に仕えるようになる。しかし、この事実分かればすべてが回復する。

全文打ち出し翻訳

インマヌエル

イザ 7:14-700 年-マタイ 1:23

答えの最高の単語がインマヌエルです。イザヤ 7 章 14 節です。

ところで、重要なことは、この預言のみことばが出てきて 700 年の間、答えがありませんでした。このことが重要です。ほとんどの人が信じないのです。

マタイ 1 章 23 節です。ここで成就されました。

未信者が、学者が、そのときは、聖書には別々にだったのではないですか、巻き物。イザヤ書を研究したのです。マタイが記録したマタイの福音書を研究したのです。未信者なのに、学者が証拠しました。700 年の差があると。

さあ、ここでもう、すべてのことが、もう、判断でき始めるでしょう。700 年間も音沙汰がなかったから、答えがあると思わないでしょう。ところで、700 年後になるか、7 千年後になるのか誰も分からないでしょう。重要なことは、この (700 年) 間に、この (イザ 7:14) 契約をずっと味わっていたことです。

□序論_タラント

それゆえ、Remnant は少しだけ祈れば、みなさんのタラントが新しく出てきます。

御座、時空、237 光-Trinity

どこから出てくるのでしょうか。ここから (御座、時空、237 光) 出てこなければならぬのです。今からのがさないでください。

ほとんどの時代を変えた人々は、幼いときに見つけたタラントではありません。ある面で今、みなさんが見つけたというタラントは、別に重要ではないこともあります。本当に神様に会った人々は、ほとんど新しく発見して、ここから (Trinity) 出てきました。三位一体の神様がなされたのです。

創 1:27、創 2:7、創 2:1-8

これで終わったわけではありません。とても重要な私のいのちです。神様が人間にだけ神のかたちとしていのちの息を植えました。

いのちの息を吹き込んだ。そう言われています。たましいを生かされたのです。これが獣にはないことです。それゆえ、多くの信徒が教会に通っても答えを受けない理由が、この部分を生かせないのです。

この部分 (御座、時空、237 光と創 1:27、創 2:7) が、つながらなければなりません。これが祈りです。ここで、この祝福が与えられたことをもって、完全にエデンの園を、それよりもっと良いことを回復するようになります。それゆえ、ここから (創 1:27、創 2:7、創 2:1-8) 出てくるタラントでなければならぬのです。

空前絶後

すると、神様が準備しておかれた空前絶後のことがあるでしょう。これが本当のタラントです。このように (タラントと空前絶後がつながる)。これが、ぴったり連結されるのです。一言でこの図の中にみな出てきました。

三位一体の神様から来る 3 超越。救われたので、少しだけ祈ると出てきます。タラントが。一生、忘れてはなりません。ですから、地球上で神様に会った人でなくとも、新しく発見して成功した人が大部分です。

ところで、完全に時代を変えた人々は、神様を信じるこの (序論の図) タラントを見つけ出したのです。

イザヤがこれを見たのです。これを見れば、いくつかのことが発見できます。

1. 真の福音

「ああ、そうだ福音が何か……」これが (序論の図) 真の福音です。分かるでしょう。

三位一体の神様が私の永遠の背景ということ。それが真の福音でしょう。死んでいた私の霊が生かされたことです。そして、誰も奪っていくことができなくて、見つけることができない空前絶後の答えが待っています。

一言で、空前絶後とは、どんなことでしょうか。ヨセフが王の夢を解き明かして総理になったでしょう。空前絶後です。そして、全世界に穀物売りながら福音を伝えたでしょう。全世界が穀物を買うためには、エジプトの総理のところに行って挨拶しなければならぬでした。空前絶後。

ダビデがいつも投げた石がゴリヤテに勝ったでしょう。空前絶後。何の話なのか分かるでしょう。

今、Remnant の集いはとても重要です。なぜならば、みなさんの年齢の時は一回だけわかってしまっても、後ほど答えがきます。さらに、みなさんが知らずにいたのに、答えが来ます。これが Remnant の特徴です。

歳をとっている人々は、また聞いてまた聞いてもうまくいかないでしょう。みなさんのとき、今、このことが (序論の図) 真の福音です。

2. 真の祈り

それから、何が見えますか。これが成り立つと。これが(序論の図)真の祈りです。絶対に忘れないでください。これが真の祈り。

3. 真の伝道

ここで何が見えますか。捕虜になっていっても大丈夫です。これが(真の伝道)出てくるのです。これを見たイザヤが今日、インマヌエルの奥義を話したのです。

□本論_ 5つ

今日、みなさんは簡単にインマヌエルの奥義5つを握らなければなりません。

1. 捕虜一失敗、絶望

今、イスラエル民族が捕虜となる預言です。みなさんが知らなければならないことは、失敗と絶望が私たちにあるでしょう。これをのがしてはいけません。分かりますか。みなさんにいつでも困難がきた、それをのがしてはいけません。ほとんどの人は困難がくれば避けます。そうでしょう。また、逃げます。とてもいやがります。そこに答えがあります。重要な答えを与えたのではないですか。

失望、絶望の中に行くように見えるのですが、事実は宣教しに行くのでしょうか。このことをぴったり悟れば正確です。

1) 根(宣教)

それで根の源が契約で、キリストが根です。

2) 切り株

この切り株は誰でしょうか。みなさんに先立って福音を伝えた先輩たち、大人たちということです。

3) 新しい芽(RT)一木、森

そして、みなさんに新しい芽が出て木になるのです。この木は森を成し遂げます。さあ、木をみな切ったから死にます。人も死ぬのです。しかし、森を成し遂げるのです。これを Remnant と言います。

みなさんがインマヌエルの奥義を味わう最初の奥義です。失敗と絶望とうまくいかないことがあるでしょう。それを見ることができなくてはなりません。そこに答えがあつて。「私はなぜ、私の家はこのようですか」そこに答えがあります。みなさんがしっかりすべきです。「私の家にはなぜ精神疾患がいるのか」そこに答えがあります。しっかりして見なければ、混乱します。

2. 解答

2つ目の奥義です。唯一の希望がなんでしょうか。このすべての問題に対しては、解答がインマヌエルです。いくら大きな問題であってもかまいません。解答がインマヌエルです。これが7章14節です。

1) 処女

「処女がみごもって男の子を産む」これは何でしょうか。「処女がみごもって男の子を産む」この言葉は、これからメシヤ、キリストになる人は人間の子孫ではいけないのです。とても科学的でしょう。「聖霊によりてやどり、乙女マリヤより生まれ……」と私たちは使徒信条で告白するでしょう。この言葉がみなさんには、単なることばですが、サタンがぶるぶる震える単語です。「女の子孫が蛇の頭を踏み砕く」と言われたでしょう。サタンがびっくりする名前です。

2) インマヌエル

処女がみごもって男の子を産む。その名として「神様が私たちとともにおられる」ということです。

3) 暗やみの権威

それによって、暗やみの権威は完全に崩れるのです。インマヌエルの2つ目の奥義。いつでもこのように信仰生活すれば良いです。問題に会ったとき、問題を避けずに、そこにすべてあります。それを耐えるのではなく、最も素晴らしく完全にひっくり返してしまうのです。

今日、Remnant は決断してください。「私の家はおかしい」「最高の家にする」決断してください。「私の親はこうだ」

「私は最高の家系を作る」決断してください。ともにおられることになっています。

私が三つの証人ではないでしょうか。私の家で、とても病人が多くて。私がそうでした。「神様、私に健康をとおして証拠を与えてください」今まで病んだことがなくて薬を飲むことはありません。普通、私の年になれば血圧の薬も飲むでしょう。ありません。証拠です。私なりに証拠があります。

あまりに人々が「お金、お金、お金」と言うので、「神様、私は一生、生きる間にこういうことがないようにしてください」行く所ごとで、みなさんのような人に会うようにしてください、このような祝福、このような建物を買いまし

た。誰でも買えることではありません。神様がとても祝福してくださるので。ですから、決断を下しなさいということです。

嘘です。伝道が難しい。「神様、私は伝道の証人になりますように」神様が私たちとともにおられると言われました。

3. 正確なみことば

[イザ 40:1-31]

インマヌエルの3つ目の奥義です。それで終わるのではないのです。世の中を生かす正確なみことばをくださったのです。これ(解答)がある人に。これがイザヤ 40 章 1 節から 31 節です。

1) 永遠に立つ

ここには重要なことが出てきます。「草は枯れ、花はしぼむ。だが、私たちの神のことばは永遠に立つ。」このように出ています。

2) 比較

それから何が出てきましたか。とても重要なことが出てきました。「神様を悪霊と比較できるのか」このように出てきました。いや、比較になるのでしょうか。いや、人が作っておいたことを置いて、人がお辞儀をするのに、話になるのか。人がお辞儀をする仏像があります。それは、人が作ったのです。みなさんが行って、ほお殿っても、なにも言いません。身動きができなくて。それを見てお辞儀をするということです。「それと比べることができるのか」そのように尋ねられるのです。

3) ただ

それとともに何が出てきますか。有名な単語が出てきます。「ただ主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。」鷲は高く上がるでしょう。子を産めば落とします。飛べということ。飛べなければきて持って、また、さらに高く上がります。神様が私たちにそのようにされるのです。インマヌエルの奥義、1 目、2 目、3 目です。必ず覚えなければなりません。

4. 使命者

[60:1-22]

インマヌエルの奥義 4 目です。使命。どんな使命ですか。イザヤ 60 章 1 節から 22 節です。

1) 光

「起きよ。光を放て」そう言われました。みなさんが光です。「主の栄光があなたの上に臨んでいる」

2) 遠方(宣教)

いよいよ、なんですか。「遠くから Remnant が戻ってくる。その船に宝をいっぱいおせて戻ってくる。」何でしょうか。宣教。みなさんを通してされます。

3) イザヤ 60:20-22

そして何となっていますか。20 節です。「最も小さい者も氏族となり、最も弱い者も強国となる。時が来れば、わたし、主が、すみやかにそれをする。」これが 20 節から 22 節です。常に記憶しなければなりません。

すべての問題は宣教の始まりです。すべての解答はインマヌエル、キリスト、処女がみごもって、そう言われました。すべてのインマヌエルの正確な、この力のみことば、この部分がみことばです。これです。

5. 身分、権威

5 目です。真のインマヌエルのみなさんにくださった身分と権威です。

光を放って戻ってくるようにする宣教の使命もありますが、より大きいことがあります。

1) 見張り人

私たちを見張り人として立てた。

2) 大路

大路を造りなさい。

3) 国々の民(旗)

国々の民のために旗を揚げなさい。この 5 つがインマヌエルの奥義です。

ある面では、みなさんがこれを分からなくても良いのが、この(序論の図)中にいれば、この(本論)答えがきます。ところで、問題はここにいないということです。ほとんどのにせ物がここにいません。それゆえ、にせ物の話を聞いて感動を受けてはならないのです。度々嘘をつきます。みなさんに嘘をつくの。自分が苦しい、どうしよう。嘘です。それは。正しい言葉のようですが、ちがいます。「家系が良くなければならない」嘘です。それは。「世の中に出て行けば大変で…」正しいですが、嘘です。それは。どうか、どうか Remnant はだまされてはいけません。

この(序論の図)の中に入れて良いのです。私はこれを悟ってから一度も苦勞はありません。問題があっても、何も問題なりません。ほんとうです。それゆえ、私が全世界のレムナントを起こそうと神様がお手伝いをさせているのです。ですから、今、私と会ったことが奇跡です。これは、これ(本論)を見てください。このように。

□結論_すべての回復

結論です。みなさんがこれを分からなければ、もうまた、これから、これが問題が、属国になって流浪民族になるでしょう。この3団体に仕えるようになります。みなさんがこの事実を分かれば、すべてが回復されます。

例の一つだけあげてみます。「いや、私たちがこのように救われるのではないのか。どうして、お金を与えて救われるのか。ちがうのではないのか」これを話した人がマルティン・ルターです。ですから、正統、本来、正統という人が問題が多いです。正統教会がマルティン・ルターに死刑宣告をくださったのです。結論、誰が勝ちましたか。神様はすべてをマルティン・ルターに持っていかれました。信じなければなりません。これは、何か偶然の幸運を望む、それではありません。

このときに現れた学者が1人います。マルティン・ルターに問題が全くないと約5時間、原稿なしで講義をしました。それで集まった聖職者がびっくりしたのです。その人が、ジャン・カルヴァンです。ですから、あらゆる事を回復させました。必ず覚えているべきです。

できれば、今、Remnantのメッセージ出てくるこれを全部書くと時間がないから、みなさんが最も重要なので、一単語ずつだけ記録してください。ある日みなさんがびっくり驚く瞬間がくるでしょう。「ええ！どうして私にこういうことが」こういうことがきます。メモしてください。

ですから、コロナがみななくなって回復されたら、どうしても Remnant だけで礼拝をしなければならないから、そのときは、メッセージを土曜日に別にすべきだという考えをしています。放送で。どうであれ、毎週、みなさんとはメッセージを疎通すべきだという気がします。なぜなら、本当に疎通できる希望がみなさんであるからです。祈ります。

祈り

主イエス・キリストの恵みと私たちの神様の大きい愛と聖霊様の働きとが、未来を生かす私たちすべての Remnant の上に今からのちとこしえまで、いつもともにありますように。アーメン。